

都市住民との連携による農空間保全・適切な施設管理と農地中間管理事業を活用した担い手農家への農地集積

はちがみね

鉢ヶ峯地域農空間保全協議会（堺市）

- 鉢ヶ峯地区では、土地改良区を中心に農地や水路、農道等の保全管理を進めてきたが、近年、農業従事者の高齢化や後継者の減少により、担い手の負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。
- H19年度に鉢ヶ峯地域農空間保全協議会が設立され、関係自治会と土地改良区に加え、都市住民で構成されるボランティア組織「農作業応援団」等、地域住民・都市住民との連携による農地保全や計画的な施設の保全管理が進むとともに、H26年度からは農地中間管理事業を活用した担い手への農地集積にも取り組み、交付金を活用した地域資源保全が図られている。

活動開始前の状況や課題

- ほ場整備の完了後、営農組合が仲介役となって農作業受委託が行われる等、盛んに営農が行われていたが、後継者や担い手の減少が進み、持続的な農地・農業用施設の管理が課題
- H4年度にほ場整備が完了し、一部施設で不具合が生じ、施設の軽微な補修・長寿命化が課題



取組内容

- 溝さらえや草刈りに加え、農道の路面補修や水路附帯施設の補修等を交付金を活用して実施し、施設の長寿命化を図っている。
- 都市住民による「農作業応援団」を組織して一連の農作業を共同で行うとともに、寄せ植え等のイベントや近隣幼稚園等の農業体験も行い、都市農村交流にも積極的に取り組んでいる。



資源向上取組地区

【地区概要】		
取組面積	28.34ha	[田16.78ha 畑11.56ha]
農業用施設	開水路8.2km 農道 5.0km	パイプライン2.3km ため池 3箇所
主な構成員	自治会、土地改良区、農協、農作業応援団、水利組合	
交付金	734千円（農地維持） 807千円（資源向上）	

取組の効果

- 土地改良区が中心となってきめ細やかな施設の軽微な補修に取り組むことにより、計画的に農業用施設の保全管理を実施。農地中間管理事業を活用した大規模農家への農地利用集積も進んでいる。
- 農作業応援団との共同活動と、地元農家が行う農業体験イベントや摘み取り園、直売所運営が盛んに行われ、地域住民や都市住民との交流、理解促進が進んでいる。

